

# サポ通

サポ通は、認定NPO法人さばえNPOサポートが自主発行している機関紙です

さばえNPOサポート通信

■ Vol.33 号

発行日 ■ 2018年11月27日

発行 ■ 認定NPO法人

さばえNPOサポート

編集 ■ 広報委員会

## 市民活動の 「ず〜っと続ける。」 は正しいの？

### 「持続可能性」から見つめ直す協働と市民活動

#### ■ 同じ顔の集まる“別会議”

「あれ？ ○○さんも、この実行委員会のメンバー？」  
昔からよく聞かれる“市民活動アルアル”で、いろんな協働事業で顔を合わせるメンバーがいつも同じ…というのがありますよね。

“頼れる人材”に限られるとは言うものの、責任感の強い人であればあるほど、肩書きの多さが負担になるもの。

「来年は、どの役職を断ろうか…」

「この事業、いつまで関わり続けなきゃならないの？」

そんな悩みが充満するようでは、地域に関わろうという人は、どんどん減っていくことになりそうです。

#### ■ 「継続」という呪縛

協働事業の場合、普通、自分だけの都合で、打ち切りや変更はできないものです。

多くの場合、予算も計画も、長い時間をかけて“正式”に決定され、次年度の計画などは、関わる市民側が知らないうちに、きっちりとルールが敷かれてることもあります。

もちろん、そのシステムには、ちゃんと意味があるのですが、「継続ありき」だけが大きくなると、やり甲斐を感じていたはずの市民活動も、いつの間にか「呪縛」となって、地域の貴重なエネルギーを浪費していくことになりかねません。

大切なのは、事業ごとに、

「そもそも、何のための事業なの？」

「“継続”自体が目的になってない？」

…という視点を、関わるメンバーみんなでシッカリ持ち、問いかけ(検証)続けることなのかもしれません。

これは、民間・行政の立場に関わらず重要です。

#### ■ 「継続」→「思考停止」？

なぜ、「問いかけ続けること」が大切なのでしょう？

新しい事業が始まり、それが成果を上げると、ひとつの“成功モデル”が出来上がります。

このモデルをなぞることで、次回以降を継続させることは一見簡単そうですが、「単発イベント」と「継続事業」とでは、ひとりひとりの“関わり方”も“覚悟”も違うもの。

初めての“お客さん”に“ごちそう”をお出ししたら、実は次の日から“下宿人”になって、毎日、最初の“ごちそう”レベルのお食事を用意しなきゃイケなくなった。

…そんな喩えで考えると、分かりやすいかもしれません。

また、“成功モデル”を使うことには、「前例踏襲」のワナに陥りやすいという弱点もあります。

“例年通り”の事業は、失敗の確率は下がるでしょうが、新しい工夫も出づらくなるし、何より、事業目的を問い直すことを忘れがちになるもの。地域や環境の「今の姿」から、取り残される危険も高まります。

また、変化のない運営や活動の繰り返しでは、事業への達成感も失われ…気づけば、自分たちの貴重な時間やお金、エネルギーを、だらだら注ぎ込んでいるだけに…

これが“継続”自体が目的になった時の「思考停止」状態で、協働事業に関わらず、「市民活動」や「ボランティア活動」全てで起こるかもしれない落とし穴なのです。

#### ■ 「継続」すべきもの／すべきでないもの

とはいえ、「事業や活動を継続するのは間違い!」と言う話ではありません。

私たちの生活と同様、「継続」する

▶ [次ページへ](#)

## ▶ 前ページから

ことが大切な活動や事業もあるはずですよ。

「市民のニーズ」「安全管理上の整備」みたいな基準で見極める方法もあるでしょうが、「市民活動」や「協働」の分野で、特に忘れてはいけないと思う視点を、ひとつ提案させていただきます。それが、これ。

### 「その事業(活動)を『継続』することが、地域の“エネルギー”を食いつぶさないかどうか」

「地域」は、「関係者」や「担当者」「市民」などに置き換えてもいいかもしれませんが。また、“エネルギー”は、“モチベーション(やる気・意欲)”や“資金”などと置き換えた方が、ピンとくる人が多いかも。

要は、「継続事業」の来た道をふり返った時、これまでの関係者たちの、消耗しきった姿や「恨み節」が累々と横たわっているようなら、何かを根本から見直さなきゃイケナイのでは?…ということですね。

#### ■「続ける」のエネルギー源はどこだ?

事業や活動には、必ずエネルギーを使います。

それでも、あまり無理せずに「継続」できているものがあるなら、必ずどこかに、使った以上のエネルギーを“創り出している”部分があるはず。

それを見極めるためには、関わった人たちが「なぜ参加してくれているのか」を理解することが大切です。なぜなら、事業や活動が、それぞれの“思い”に応えた時、「継続」のためのエネルギーが生み出されていると思えるからです。

「地域のため」「子どものため」「楽しいから」「達成感」「自分のプライド」「人間関係」「お仕事として」「自己承認欲求」などなど、いろんな理由が混ざり合いながらも、その人が一番大切にしている動機や欲求は様々です。そこに心を配ることで、全体のエネルギーのバランスも見えてくるのではないのでしょうか。

そして、もし、新しいエネルギーが、十分に再生産されていないのなら、一度、事業の目的や運用方法、人材やコミュニケーションなど、色々な視点で検証し、場合によっては、「お休み」「廃止」といった決定をすることも必要なのでしょう。

#### ■「継続」≒「更新」☆

最後に、あるべき「継続」の姿を、少し考えてみましょう。

“生まれた時の形を1ミリも変えずに続いていくこと”…それがはたして理想的な「継続」なのか。

それでは、現実の世の中と、どんどんズレていってしまうかも…

だったら、生きものの体が、少しずつ新陳代謝しながら成長するように、柔軟に「更新」しつづけることが正解では?

その先では、当然「次世代の育成」や「世代交代」といった大きな変化も、「継続」の中に含まれることでしょう。

見た目や、運営の形にはこだわりすぎず、事業や活動の持つ「目的」「理由」を見失わないように「つなげて」いくこと。

それが、本当の意味の「継続」なのかもしれません。

今、市民活動の世界でも、“持続可能な(サステイナブル)”という言葉がよく使われます。

それは、「何かを続けていくことの難しさ」を、多くの人を感じているのと同時に、「続けていくことの意味」を問い直しているからかもしれません。

この機会に、身の丈にあった、「エネルギー再生産」のできる「継続」のありかたを、みんなで話し合ってみてはいかがでしょうか?



### 「ずーっと」の秘訣



どっちかっちゃあ、その“逆”かな?

### 広報サポーター募集中!!

★簡単なお手伝いでもOK。個性的な仲間が揃ってます☆  
詳しくは、さばえNPOサポート事務局・松田まで。

#### 編集・お問い合わせ

認定NPO法人 さばえNPOサポート

〒916-0024  
福井県鯖江市長泉寺町1丁目-9-20 鯖江市民活動交流センター内  
TEL:0778-54-7055 FAX:0778-54-7058  
【Eメール】 info@sabae-npo.org  
【ホームページ】 http://www.sabae-npo.org